



樹木の安全点検



リスクが高い場所はどこだろう？

広い公園や緑地では一度の点検で全ての植栽をチェックするのは難しいかもしれません。そんな場合は、樹木が倒れたり、枝が折れたりして重大な事故につながる可能性が高い場所を重点的に点検するのも一つの手です。今回は、特に優先して点検すべき場所についていくつか紹介します。

1 人が滞留する施設

ベンチや遊具、駐車・駐輪場、案内板など、人が留まる場所では、近くの樹木が倒れたり、枝が折れたりした場合、人身事故につながる危険性が高いため、特に安全管理が必要です。



2 人が通行する場所

園路や出入口なども倒木や落枝により大きな事故につながる可能性が高く、安全管理が重要になります。また、下枝が伸びて通行の支障になったり、樹木の根が舗装を持ち上げてつまずく原因になったりすることがあります。



3 敷地境界

敷地境界付近の樹木はトラブルになりやすいため、注意しましょう。敷地外に枝や根が伸びたり、倒木や落枝が発生したりして人やモノを傷付けてしまうなど、大きな問題になることがあります。



自分が管理している
公園や緑地で該当する場所を
チェックしてみましょう！



点検は日常的な管理の中で簡易的に問題などを確認する方法です。落枝や倒木に関する専門的なリスク評価や必要な処置の判断については樹木医などの専門家に相談しましょう。

公園・緑地の植栽点検・講習のご依頼は株式会社エコルまで！



発行元 株式会社エコル

東京都港区高輪3-4-1 高輪偕成ビル8階

03-5791-2901 03-5791-2902

過去の記事も確認できます！

都市樹木研究室の
HPのQRコードは
こちらから

